



西淀川区民生委員児童委員協議会



令和4年12月1日、新しい25名を含む138名の委員（内主任児童委員22名）に委嘱状が交付され新たな任期のスタートを切りました。

当区は12地区協議会で構成され、区役所をはじめ関係諸機関と連携しながら、地域での生活相談や高齢者等の見守り、子育てサロンの運営、児童虐待防止活動など地域福祉活動の向上に取り組んでいます。

①【一般的に言われている民生委員の現状】

- ・地域のつながりの希薄化などにより担い手の確保が難しい
- ・委員定数に対する委嘱者数の割合（充足率）が低下している
- ・慣れないうちに辞めてしまう「一期目の壁」の克服が課題
- ・働き盛りの年齢層（特に男性の委員）の割合が低い
- ・委員の年齢層が高い（定年後のボランティア）

②【西淀川区民児協の民生委員の現状】

別添資料*「西淀川区民生委員・児童委員に関する調べ」を基に記述
（※直近4回の一斉改選直後の委員構成等をデータとして比較しています）

- ・委員の充足率は低下傾向にある ⇒ 担い手の確保が難しい
- ・一般的に言われるほど「一期で退任」する委員は少ない
- ・50歳代以降がほとんど、直近改選では約95%にまで達している
特に60歳代以降で65%を占めている
- ・男性の委員は減少し続けている ⇒ 男女比は1：4

③【現状課題解決に必要と思われる糸口】

- ・地域の団体との相互協力
- ・退任委員のサポート